水土里レポート　投稿様式	
投稿月日	令和７年６月１３日
タイトル	じょうずにできたよ！初めての田植え！２０２５
水土里レポーター名	水土里ネット福山　佐々田　愛

令和７年５月３０日（金）福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員廻野明倫（かいのあきのり）さんのほ場で、福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組が、田植えの農業体験をしました。

松永幼稚園では、コロナ禍でも対策を講じながら子ども達のために農業体験を続けておらましたが、取材をとりやめていたため、実に５年ぶりの取材となりました。

年長の子ども達約６０人は、３クラスにわかれ順番にほ場へスクールバスでやってきました。「お助けマン」という保護者の有志の方２０人も子ども達の田植えを手伝うためバスで来られました。

最初に廻野さんから「田植えをしたことがある人いますか。」と聞かれると大人の方２，３人しかおられず、ほとんどの方が初めての田植えでした。

廻野さんから苗の持ち方や植え方を丁寧に説明してもらい、大人と子どもが二人一組になり手を繋いで田んぼに入りました。みんな一歩目は恐る恐るでしたが、すぐに慣れて上手に歩けるようになりました。子ども達は日頃から園庭を裸足で遊んでいるそうで、裸足には慣れっこだけど田んぼのヌルヌルした感触は初めてだったようです。

田植えも最初はおっかなびっくり土の中に手を入れていましたが、すぐ上手にできるようになりました。手際よく何列も植えても、もっと植えたいようでしたが次のクラスに交代しました。

田んぼから上がると足に付いた土を落とすため、すぐ横の用水路に入り手足に付いた土を洗いました。
先生に「足で足を洗ってごらん。」と教えてもらってゴシゴシ土を落としました。その後、各自が持参した水で手足を洗いました。
子ども達は「じょうずに田植えができた！」目を輝かせていました。
田んぼには、トノサマガエルやカメ、アメンボ、トンボ、ちょうちょなどの生き物もおり興味津々です。「ぼくアメンボ知ってるよ！」みんなで話も弾みました。
初めての田植えは自然と触れ合う貴重な体験となりました。田植えの思い出とともに農業や自然などに関心を持ってもらえるきっかけになったと思います。